

### 1. 二つの大震災の教訓

阪神・淡路大震災が発災してから2年後には30年を迎えます。現在、世界各国では地震災害だけではなく、風水害等の様々な気象災害が起きていますが、「時間の経過とともに防災意識が薄れて風化してしまっている。」と感じることが多くなっています。



阪神・淡路大震災  
平成7年1月17日

東日本大震災  
平成23年3月11日

### 2. 二つの被災地を「繋ぐ」特産物

#### からできた災害食のパンの缶詰

阪神・淡路大震災の「被災経験がない」

兵庫県立姫路商業高等学校の生徒と、東日本大震災の「被災経験がある」宮城県農業高等学校の生徒が、兵庫県の「卵」と宮城県の「いちご」

(宮城県農業高等学校が被災した時に育てていたことから)を使用した災害食のパンの缶詰を共同で商品開発しました!!



### 3. 「ふわ姫パン」の5つのコンセプト

食材にはビタミンCが多く含まれ、美肌・風邪予防・腸内環境を整え・生活習慣病・虫歯の予防にも効果が期待できる「いちご」を採用しました。また、災害食に必要な下記の5つのコンセプトを決定しました!!

- 1. どこでも
- 2. そのまま
- 3. 誰でも
- 4. 手軽に
- 5. 美味しく 食べられる



### 4. 命の語り部を伝える

阪神・淡路大震災と東日本大震災の教訓を風化させないため、防災教育絵本を作成・寄贈します。



しげる幼稚園で読み聞かせの技術や方法を学んでいる様子

### 5. 災害に備える

この商品は「学校と学校・人と人・生産者と消費者・学校と企業」を結びたいという想いを込めた真空パックご飯「結米 (ゆいまい)」です。宮城県農業高等学校産の無化学肥料・減農薬栽培で作られた宮農米と、兵庫県産のお米をブレンドして共同商品開発しました!!



### 6. 災害を減らすために100年先の未来へ

JICA・JIFHの支援のもと、商品開発した災害食・現地の言葉に翻訳した防災教育絵本を海外の被災地国へ寄贈、トルコ・インドネシア等の被災地へ、本プロジェクトを伝える取組を実施予定としています。



トルコ・シリア地震  
令和5年2月6日



スマトラ島沖地震  
平成16年12月26日